

2024年度 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会 防災部会 事務局会議録	
日時	2024年5月8日(水) 16:00-17:00
開催場所	活動ホーム ゆめ
出席者	10名
欠席者	
開催形態	公開(傍聴人: 名)・ 非公開
議 事	<p>◇次回の部会の内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> すでに新規で部会への参加希望が入っている。 次回の部会はいつもより30分早く集合し、新規参加の事業所を対象にこれまでの防災部会での取り組み、経過等を説明する時間とする。 ※継続参加の事業所は通常どおり16:00～出席でOK 場所はゆめ食堂を15:30～確保済。 <p>◇被災地障害者センター横浜ほどがやの開設にむけての課題の整理、今年度の取り組み</p> <p>A センター開設訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> 区の災害ボランティアセンターでは、開設訓練まで実施している。センターでも同様に開設訓練まで実施できたらよい。 ちなみに、熊本の被災地障害者センターは災害後1週間で設立した。主には各地からくるボランティアを受け入れる場所として機能。 実際に災害が発生した時には部会のメンバー自身も被災者となるため、自分たちで一から設営することはおそらく難しい。外部からやってきた支援者に担ってもらえるような仕組み作りも必要。そのためには、まず自分たちが外部の人にもセンターがどのような場所なのかを説明できるようにした方がよい。 <p>保土ヶ谷区区災害ボランティアセンター シミュレーション訓練について(社協：本橋氏より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時対応に関わる職員などを対象に去年11月に実施。 当日の流れとしては、まず座学でキントーンをつかったシステムの説明等を行った後に、実際に設営されたスペースに移動。それぞれの場所で行うことをガイドツアーのように説明していった。職員の配置やボランティアに来た人の導線が実際にイメージできるように行った。 <p>横浜市としての動きについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害ボランティアは事前登録制。個人情報取り扱いがあるため、ボランティアにそのまま任せることはせず社協が管理をしている。 発災時は報道に答えることが大変。被害状況やニーズの把握、支援の状況を迅速に共有できるところからキントーンを導入した。 <p>Q：通信機器の確保について</p> <p>A：発災時に使う電源やタブレットの確保もされている。機材の保管も市社協などがスペースを貸してくれている。</p> <p>Q：ボランティアの活動時間について</p>

A：基本的には日帰り。泊まりがけでのボランティアを受け入れないわけではないが、宿泊場所は自分で確保してもらう。

Q：実際の立ち上げについて

A：区からの依頼を受けてから2，3日で立ち上げとなる。実働に繋がるのはおそらく1週間ほど。

Q：支援ニーズの把握について

A：発災時、市・区社協のホームページでSOS受付ができるようになる。あとはピラ配りや戸別訪問など。

センター設営についての意見、検討事項

- ・当事者(やその家族)は、実際被災した時にどのように動いたらいいのか、それぞれの機関がどのような動きをするのか等分からないことが多い。センターについても、もっと周知が必要。ピラ配りなどアナログな方法が現実的かもしれない。
- ・センター設営に向けて：実際に地震が起きた際に集まってみる、いざというときに使えるようにメンバー内のLINEグループを作るなど。

今後の防災部会の動きについて(上半期)

- ・次回の部会でセンター開設訓練について全体へ説明。
- ・災ボラ開設訓練を参考にしながら準備、7月の事務局で資料等の確認。
- ・9月の部会で実際に開設訓練を実施。

その他

・今年度は話し合いの内容が多いため、防災部会を16：00～17：30にすることを検討中。後に予定されている当事者部会との兼ね合い次第で決定とする。

次回部会：6/12(水)16：00～(15：30～説明会) 地域活動ホームゆめ 食堂にて